

オーストラリア金融政策(2018年5月)

～政策金利は据え置き。企業の景況感は改善が進む～

2018年5月1日

お伝えしたいポイント

- ・ RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を1.5%に据え置き
- ・ 製造業の景況感は過去最高水準となるなど、企業の景況感の改善が進む
- ・ 経済は堅調なもの、インフレ率はRBAの目標水準にあと一步届かず
- ・ 豪ドルは足元で持ち直しつつあるが、外部要因によって左右される展開が続くと見込む

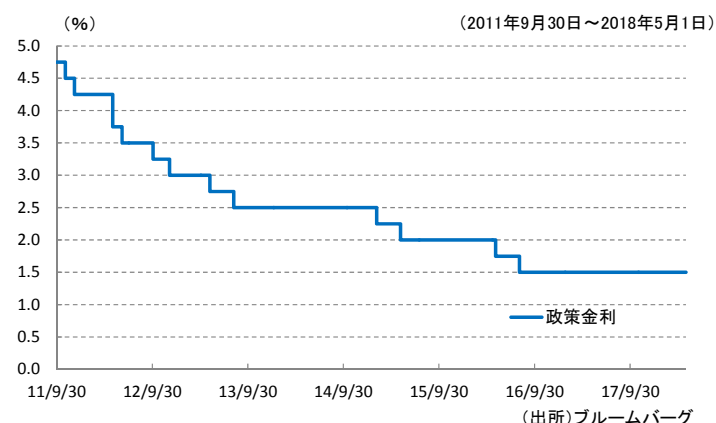
<RBAは政策金利を1.5%に据え置き>

2018年5月1日(現地、以下同様)、RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を発表し、1.5%に据え置きました。据え置きは事前の市場予想通りでした。

声明文では、最近発表されたインフレ率はRBAの目標水準に届かなかったものの、景気が力強さを増すに連れて緩やかにインフレ率が上昇していくことが期待されるとの見方が維持されました。

今後については引き続き、失業率の低下とインフレ目標の達成に向けたさらなる進展が期待されるものの、この進展は緩やかなものになる可能性が高いとし、当面の政策金利の据え置きが示唆されました。

《政策金利の推移》



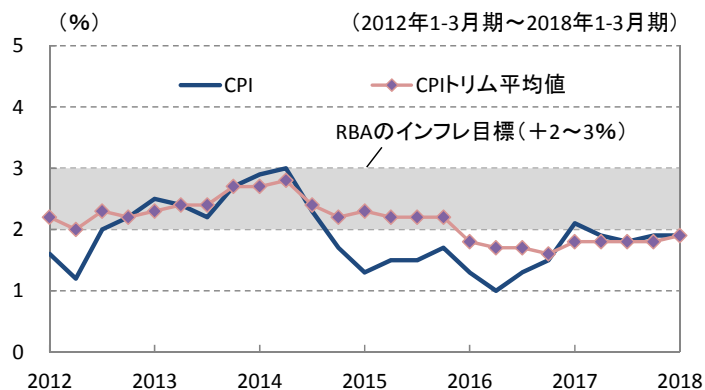
<経済は堅調なもの、インフレ率はRBAの目標水準にあと一步届かず>

4月24日に発表された2018年1-3月期のCPI(消費者物価指数)は前年比1.9%の上昇と市場予想をわずかに下回りました。RBAのインフレ目標水準である+2~3%の下限も引き続き下回っています。

またCPIトリム平均値は、前年比1.9%の上昇となりました。CPIトリム平均値とは、一時的な要因の影響を取り除いたインフレ率として、RBAが重視している指標です。CPIトリム平均値は市場予想を上回ったものの、RBAの目標水準にはあと一步届きませんでした。

今後はRBAが次の一手である利上げの開始時期を模索していく中で、堅調な経済の下、賃金上昇率が加速し、それに伴うインフレ率の上昇がみられるかどうか、引き続き注目材料になると思われます。

《CPI(前年比)の推移》



※CPIトリム平均値とは、CPIを構成する品目から比較的価格変動が大きい品目を除外して算出した値です。

(出所)ブルームバーグ、RBA

<豪ドルは足元で持ち直しつつあるが、外部要因によって左右される展開が続くと見込む>

これまで米国と中国の貿易摩擦に対する懸念などにより、鉄鉱石価格の調整が続いていました。このため鉄鉱石の主要輸出国であるオーストラリア経済にも、鉄鉱石価格の調整の悪影響が及ぶとの警戒感が高まり、豪ドルも軟調な推移となっていました。しかし足元では鉄鉱石価格は底打ちし、豪ドルも対円で持ち直しつつあります。

今後については、RBAが声明文で繰り返し述べているように、インフレ率が上昇するにはしばらく時間を要するものと思われるため、豪ドルは外部要因に左右される展開が続くやすいと見込んでいます。

当社ではRBAが年内は政策金利を据え置くと見込んでいますが、堅調な経済の下でRBAの想定以上に雇用環境の改善が続けば、利上げ開始時期が前倒しになる可能性もあります。長期的には、労働市場の改善を通じてインフレ圧力が高まることでRBAの利上げ観測が高まり、豪ドルは底堅く推移するものと見込んでいます。

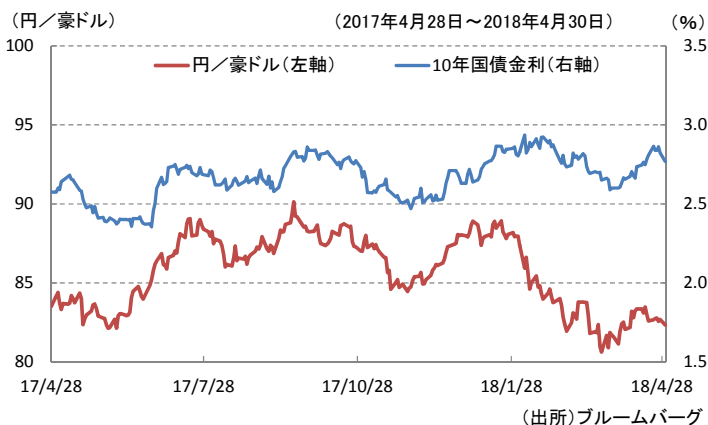
以上

《鉄鉱石価格の推移》



(出所)ブルームバーグ

《為替と国債金利の推移》



(出所)ブルームバーグ

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・オーストラリア金融政策(2018年4月)～政策金利は据え置き。オーストラリアは景気拡大の世界最長記録をさらに更新～(2018/4/3)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180403_1.html
- ・ニュージーランド出張報告(2018年3月)～新政権への注目が集まるニュージーランドの「今」～(2018/3/28)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180328_1.html
- ・オーストラリア出張報告(2018年3月)～インフラ投資に沸くオーストラリア経済の「今」～(2018/3/20)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180320_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2018年3月)～労働市場は改善も政策金利は当面据え置きの見込み～(2018/3/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180306_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2018年2月)～CPI上昇率が緩やかな加速にとどまる中、政策金利は当面据え置きの見込み～(2018/2/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180206_3.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年12月)～政策金利は据え置き。RBAは低金利政策を続けながら、景気・物価の改善を待つ～(2017/12/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171206_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年11月)～政策金利は据え置き。インフレ率の低迷から当面の政策金利は据え置きを見込む～(2017/11/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171107_1.html
- ・オーストラリア訪問記～鉱石大国の今をみた～(2017/11/2)
- ・オーストラリア金融政策(2017年10月)～政策金利の据え置きを継続～(2017/10/3)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171003_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年9月)～政策金利は据え置き、賃金の伸びはいまだ低調も今後に期待～(2017/9/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170905_2.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年8月)～政策金利は据え置き～目先の為替市場のテーマは金融政策よりも資源価格～(2017/8/1)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170801_1.html
- ・最近の豪ドルはなぜ上昇しているのか？(2017/7/21)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170721_2.html

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>